



～ みんなが主役 わたしたちのまちづくり ～

東広島市市民協働センターだより

創刊号

2013年9月

もくじ

- ◆市民協働センターがオープン！
- ◆まちづくりカフェを開催！
- ◆センターからのお知らせ

〒739-8601 東広島市西条栄町8番29号
 東広島市役所北館1階
 東広島市市民協働センター
 電話：082(426)4560
 FAX：082(420)0402

地域情報が盛りだくさん！ <http://higashihiroshima.genki365.net/>

市民活動情報サイト

検索

市民協働センターがオープン！

8月1日（木）に「東広島市市民協働センター」がオープンしました。藏田市長をはじめ地域の関係者らが出席し、開所式が行われました。また、施設内に設けられたオープンスペースやパソコンコーナー、図書コーナー、掲示コーナー、会議室、作業室（輪転機・コピー機・大判プリンター等）、メールボックス等について職員から説明がなされました。

東広島市市民協働センターは、さまざまな分野で活動している市民団体、住民自治協議会などの活動や交流を支援するとともに「市民と市民」「市民と行政」の協働によるまちづくりの推進を目的とした施設です。オープンスペース、パソコンコーナー、図書コーナー、掲示コーナーは一般に開放されています。会議室、作業室、メールボックス（私書箱）の利用は団体登録が必要です。会議室、コピー機、ファックス、輪転機、大判プリンターなど一部の施設は有料となります。ぜひセンターをご活用ください。



開所式の様子



掲示コーナー



作業室



オープンスペース利用の様子

まちづくりカフェを開催！

8月10日（土）に「まちづくりカフェ」を開催しました。住民自治協議会やNPOなど34名が参加し、ワークショップを行いました。

- ◆期日：平成25年8月10日（土）
- ◆時間：13時30分～16時30分
- ◆場所：中央生涯学習センター
3階小ホール
- ◆人数：34名
- ◆内容：新施設の紹介
ワークショップ

◆実施概要

新施設の紹介

ワークショップ

～市民協働センター活用法について考える～



①チェックイン：参加者全員が「名札」を作成 ⇒ 各自15秒で自己紹介



②交流タイム：約15分間、会場を自由に動き、1対1で会話し「会話メモ」に記入
(多い人で8人～5人、少ない人で2～3人と会話)

③対話タイム

*適当に着席したテーブル（人数の都合で8グループ）で世話人（主）を選出
世話人はグループ固定、他のメンバーは3回ローテーションすることを伝え、
「ワールドカフェ※」方式の対話を開始。

※カフェのようなリラックスした空間で、少人数に分かれて自由に対話し、その組み合わせを変えることで全員で話し合っているような効果が得られるコミュニケーション手法。

1回目：主として【センターのプラス面（期待できそう・ここが良さそう）】について話し合い ⇒ 模造紙に自由に記入

2回目：主として【センターのマイナス面（ここがちょっと問題・疑問）】について話し合い ⇒ 模造紙に記入

3回目：1、2回目を踏まえ、センターの活用法について話し合い⇒模造紙に記入



<出された声・意見など>

期待できそう・ここが良さそう	ここがちょっと問題・疑問
<p>○集える場（オープンスペース・会議室など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●情報が得られる ○情報の発信拠点になりそう ●街中で便利（本庁隣・土日夜も開いている） ○作業室のサービス（輪転機・大判プリンター等） ●市の職員と気軽に対話・相談ができる ○コーディネーターの支援・助言 ●ちょっと立ち寄れる雰囲気 	<ul style="list-style-type: none"> ●遠方からは利用しにくい ○会議室が1つでは… ●コーディネーターが常勤でない ○掲示スペースが狭い（ツールが少ない） ●登録・予約など手間がかかりそう ○「6つの機能」がやや抽象的

こんなセンターに(要望・提案・意見など)

■カフェの発表に対するコメントから

【継】組織や団体、市民のネットワークづくりに繋がる企画・運営を

【編】行政の各部署との連携の「強い調整役」として機能する

【縁】市民（子どもも含め）が気軽に立ち寄り、茶飲み話ができる場に

【続】説明会や意見収集・交流・発信の機会を多くもつ

【給】お得な機器利用、情報のゲット、研修会など供給に満ちたセンター

【紀】地域センターや住民自治協議会との協働を意識した計画や情報収集に心がける

【緩】普段は言いにくいことを言い合えたり、鬱憤も晴らせるような自由な場面も必要

【緑】学生を含め、次代を担う世代の参加を促進することにも尽力を

総じて、糸へんにちなんだ【絆】【結】なども含めた「つながり」を紡ぐ・織る・組み合わせる

④共有タイム：貼り出した模造紙を基に、グループの世話人が発表（約3分で）

コーディネーターよりワンポイントのまとめ発言

⑤チェックアウト：アンケート票に気付き・意見などを記入

<アンケートに記入された要望・意見から>



- ◆時機に適った仕掛けを（ニーズをキャッチし、考え行動するセンターに）
- ◆市民と市職員が一緒にできる研修の企画を
- ◆相談機能も充実させて
- ◆（センターとして）行政や団体に提案を
- ◆一目でわかる「地域情勢」（スケジュール・データなど）
- ◆各自治協議会単位での開催も望む
- ◆何よりも人材育成から
- ◆悩み相談基地（拠点）としての体制づくり
- ◆市民の努力を市の幹部・職員に知ってもらうのが協働に繋がる

センターからのお知らせ

◆イベント案内 まちづくり企画交流塾(第1回)

テーマ：夢のもてる子育て支援を語り合う ～あるべき姿の共有とはじめの一步の企画～

と き：平成25年10月19日(土) 14:14～16:16

ところ：東広島市市民協働センター会議室(市役所北館1階)

企画運営：(NPO) 子育てネットゆめもくば・(NPO) 陽だまり・市民協働センター専門員

定 員：20名(子育て中の市民・関心のある市民・学生・住民自治協議会関係者など)

内 容：●基調スピーチ 「子育て支援の輪をもっともっと広めよう」

(NPO) 子育てネットゆめもくば 村若 尚さん

●ワークショップ

- ・夢のもてる子育て支援のあり方を出し合おう
- ・その実現のために必要な要素を書き出そう
- ・はじめの一步としての活動(イベント)を企画しよう

●振り返り・次回に向けての協議

問合せ：東広島市市民協働センター(担当：薦田・堀江)

電話：082(426)4560 FAX：082(420)0402

申込期限：10月16日(水)まで ***託児サービスあります(無料)**

◆センタースタッフ紹介

専門員 薦田直紀(こもだなおき)

1953年、香川県生まれ。

大学で社会教育学を専攻。

以後、広島県内の公衆衛生

に係るコミュニティ組織の

支援業務や脱温暖化のまちづくり活動等に
従事。

現在は、サステナブル(持続可能)地域づくりのコーディネートに関わっている。好きなものは日本酒、好きな言葉は「適志」。



補助員 岩見潤治(いわみじゅんじ)

1968年、和歌山県生まれ。

脱サラし、志和町で有機農

家としてチャレンジの日々。

前職では昆虫や野草の調査・保護、地球温暖化対策、市民活動の支援などに従事してきました。この経験を市民協働センターでの仕事に活かしていきたいです。



◆センター施設のご案内

<開館時間>

平日(月～金) 9時から19時まで

土・日・祝 10時から19時まで

<休館日>

12月29日～1月3日

※臨時休館日进行ける場合があります。

<一般に開放される設備>

- オープンスペース
- パソコンコーナー
- 図書コーナー
- 掲示コーナー

<登録団体が利用可能な設備>

上記に加え、団体登録すると活用できます(一部有料です)。

- 会議室
- 作業室(輪転機・コピー機・大判プリンター・紙折り機などの事務機器)
- メールボックス(※事前申請が必要)